

パティーナ大阪

周辺と一体的に緑地を生むZEB Oriented認証取得の高級ホテル

建築物概要

- 所在地：大阪市中央区馬場町
- 建築主：NTT都市開発株式会社
- 設計者：株式会社竹中工務店
大阪一級建築士事務所
- 用途：ホテル
- 敷地面積：4,895m²
- 建築面積：2,290m²
- 延べ面積：38,940m²
- 構造：鉄骨造
- 階数：地上21階/地下3階
- CASBEE評価：Aランク/BEE値2.3
- 重点評価：CO₂削減4.0/みどり・ヒートアイランド対策4.0/
建物の断熱性能3.0/エネルギー削減5.0/自然エネルギー直接利用3.0



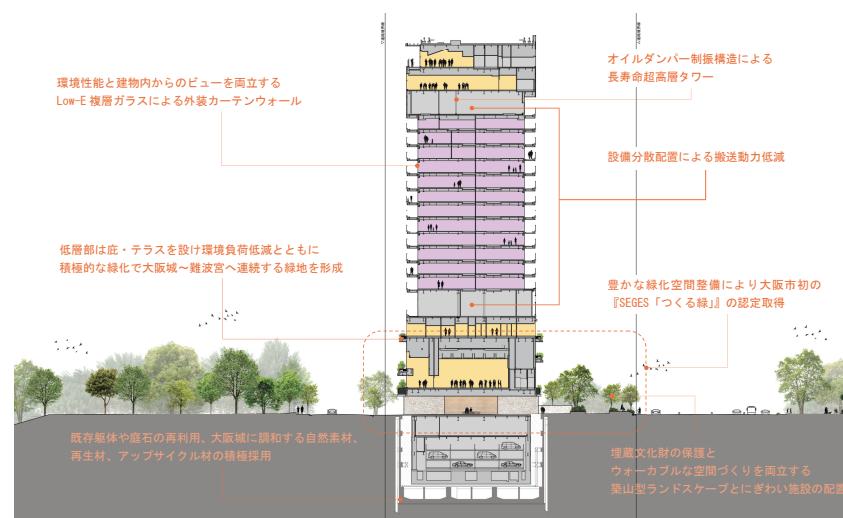
【立地、周辺環境】

難波宮跡と大阪城に囲まれ「大阪始まりの場所」とも言える特別な敷地に建つ、ホテルの計画であり、市民生活/観光の両面で重要な立地である。特定街区制度を利用した敷地を跨ぐ一体開発と、隣地で同時期に実施された「難波宮跡公園整備」を同事業者・同設計者が整備することで、谷町4丁目～森ノ宮を繋ぐエアリートラックを生み、ホテルを中心新たにぎわいを生んでいる。

【総合的なコンセプト】

高性能なガラスカーテンウォールにより環境性能を高めつつ、室内からの眺望と空に溶け込む現代的な外観を両立した都市型リゾートホテル。環境負荷の高い高級ホテル用途ながら「ZEB Oriented」認証を取得した。また、同時期・同事業者による難波宮跡公園整備と連携し、一体化的にデザインすることで、谷町～森ノ宮エリアの新たな核として、市民に開かれた緑豊かなウォーターサークル都市空間を創出している。石垣に着想を得た低層テラスをはじめ、環境に配慮しつづラグジュアリーな空間体験を提供する建築計画に、制振構造による堅牢な構造計画と、省エネ性、効率性の高い設備計画を組み合わせることで、ロングライフでサステナブルな超高層建築を実現した。

建物断面構成図



環境配慮事項とねらい

環境性能と建物内からのビュを両立する Low-E 複層ガラスによる外装カーテンウォール

客室

- ・Low-E複層ガラスを採用し環境性能を向上
- ・大判ガラスによりサッシ数量の低減、環境性能向上とともに室内からの良好なビュを確保
- ・非空調の居住空間として屋外コーナーテラスを設置共用エリア
- ・ペリメータヒーターや発熱ガラスを組み合わせ温度差の少ない室内環境を実現



低層部は庇・テラスを設け環境負荷低減とともに積極的な緑化で大阪城～難波宮へ連続する緑地を形成

- ・低層部は日陰をつくる庇やテラスを設置
- ・テラス上部は植栽を施し、周囲の緑を連続
- ・デッキテラスを設け積極的な室外空間の利用を促進



既存躯体や底石の再利用、大阪城に調和する自然素材、再生材、アップサイクル材の積極採用

- ・大阪城で利用されている、花崗岩や銅、木のほか、和紙や土など自然素材を採用し、流行に捉われないロングライフな意匠計画を実現
- ・建替前の既存建物地下躯体や、底石を計画に再利用
- ・再生砕石、人工再生木をはじめ再生材を採用
- ・木の古材によるテーブル、廃材によるアートワークなど古い建材や不要となった資材をアップサイクル



埋蔵文化財の保護とウォーターフロント空間づくりを両立する築山型ランドスケープと共にぎわい施設の配置

- ・低層部に飲食やショッピングなどにぎわい施設を配置
- ・掘削範囲を既存躯体内に限定し文化財への影響低減
- ・盛り土により葉巻形に形成し規線制御と緑被率を両立
- ・高低差を活かし水景により幹線隣接部に居場所形成
- ・東西通り抜け歩道を設置し一体の歩行空間を強化
- ・上記取組により大阪市初の『SEGES「つくる緑』※1の認定取得

※1・社会・環境貢献緑地評価システム（シージェス）、緑地保全や創出に関する認定制度。
取組みについて、優れた計画・事業を評価する認定制度。



オイルダンパー制振構造による長寿命超高层タワー

- ・オイルダンパーによる制振構造を採用
- ・既存躯体を利用し、杭無しで超高层を実現
- ・鉄骨造にCFT、SRCを組合せた適材適所の構造計画
- ・AMD※2により風荷重に対する居住性を向上

※2…アクティブ・マス・ダンパー

省エネ・BOPに配慮した高効率、信頼性の高い設備計画

- ・客室内モーションセンサーによる省エネ照明制御
- ・コジェネレーション設備、電気・ガスを用いた空調熱源種の分散化による信頼性の高い設備計画
- ・BEMS機能によるエネルギーの見える化により空調、照明などの設備を効率的に制御

コジェネレーションと熱源種分散を組合せた熱源フロー図

